

ふれあいネットワーク 社協 だより じょうえつ

Contents

- 特集 ～自由の学び舎～やすづか学園…②
- 平成28年度 収支報告…④
- 住民福祉会リポート…⑤
- インフォメーション…⑥
- 地域でキラリ！…⑧

めくりんからの一言!

ふ だんの
く らしを
し あわせに



上越市社協マスコット
キャラクター「めくりん」

やすづか学園では、5月30日に毎年恒例の田植えを行いました。子どもたちは地域の方と一緒に爽やかな汗を流しました。秋には黄金の稲の穂が実り、たくさんのおいしいお米が収穫できることでしょう。



特集

子どもたちの自立に寄り添って

不登校児の短期自立支援事業

「自由の学び舎」やすづか学園



やすづか学園を

ご存知ですか？

棚田の美しい上越市安塚区の山あいに、子どもたちの歓声が響きます。「自由の学び舎」やすづか学園は、不登校に悩む子どもたちを支援するため、上越市社会福祉協議会が公益事業で運営するフリースクールです。私たちは、子どもたちが学園生活を通してより良い人間関係を築くとともに、自分で考え行動できる力を身に付けられるように常に寄り添いながら指導しています。

不登校は本人はもちろん

家族も苦しい

子どもたちが不登校になるきっかけは、勉強のつまずきや友達とのトラブルなど様々です。昼夜逆転の生活やひきこもり、家庭内暴力などが深刻になると、子どもを立ち直らせるのはとても困難です。こうした状況が長引くと、子どもが心身の健康を損ね、家族関係にも悪影響を及ぼ

しかねません。

寮生活が子どもたちを

いきいきと輝かせる

親元を離れ規律ある寮生活を送ることで、見違えるように元気を取り戻します。生活習慣が身に付き、集団生活のルールとマナー、仲間との関わり方を学びます。そして、今後の進路について自ら進んで考えるようになりま



洗濯は自分でするよ～

しっかり学習を進め

進路実現を果たす

午前中は5教科の学習時間です。学習の遅れを取り戻すように授業を進め、一人ひとりに合わせたきめ細やかな指導を心掛けています。また、英語や漢字などの検定試験にチャレンジする子どももいます。

子どもたちは、全員希望する高校への進学を実現しています。

地域の皆さんも

学園の力強い応援団

地域住民が組織する「菱里地域支援委員会」の皆さんからは、稲作や



勉強苦手だけどがんばる…

みんなで
かしこくなるぞ～！



さいの神、そば打ちなど、中山間地農村ならではの体験を子どもたちに提供していただいています。同委員会は、この取組が評価され平成27年に全国表彰されています。このように、地域の皆さんも学園と一体となって子どもたちの成長を力強く後押ししてくれています。



田んぼに入るのはじめてかい？



おかげさまで今年で創立22年目を迎え、この間上越市内をはじめ全国から150名を超える子どもたちが入学しました。子どもたちは全員が元氣と笑顔を取り戻して学校復帰や高校進学を果たしました。上越市社会福祉協議会では、これからも「ゆつたりと大らかにやさしく」をモットーに、不登校に悩む子どもたちの支援を行っていきます。



インタビュー



中学3年生
カズハル君

学園の生活はどうですか？

キャンドルロードに参加したり、キューピットバレイススキー場でスノーボードをしたり、地域の人と一緒に田植えをしたり、いろんな活動ができるのが楽しいです。あとは、寮で友達とTVを見たりゲームをしたりして笑っているという普通の日常生活が気に入っています。

大変なことはないですか？

給食で苦手な魚が出るのかな…（笑）インターネットが好きな時にできないのが不便だけど、特に大変と感じたことはないです。

将来の夢は何ですか？

高校を卒業して、仕事に就いて、良い人と出会って、素敵な家庭を作りたいです。子どもが2人欲しいです（笑）



スタッフ
廣田真理子

子どもたちと関わって感じることは？

初めて学園を訪れたとき、うつむいて顔を上げられない生徒は少なくありません。しかし、カヌーや田植え、バンド演奏など様々な活動を体験したり、仲間と談笑しながら食事をしたりして、お互いを励まし合いながら学習を進めるうちに少しずつ笑顔が増え、次第に本来の自信を取り戻していきま

す。子どもたちには「元気になる」大きな力が備わっていると感じています。

不登校に悩む子どもたちへ一言

明けない夜はないし、出口のないトンネルもありません。今、苦しい気持ちでも、必ず振り返る時が来ます。自分を信じ、勇気を出して次の一歩を踏み出してください。きつとそこから新しい道が拓け、未来へ繋がると思います。一人ではないことをどうか忘れないでください。

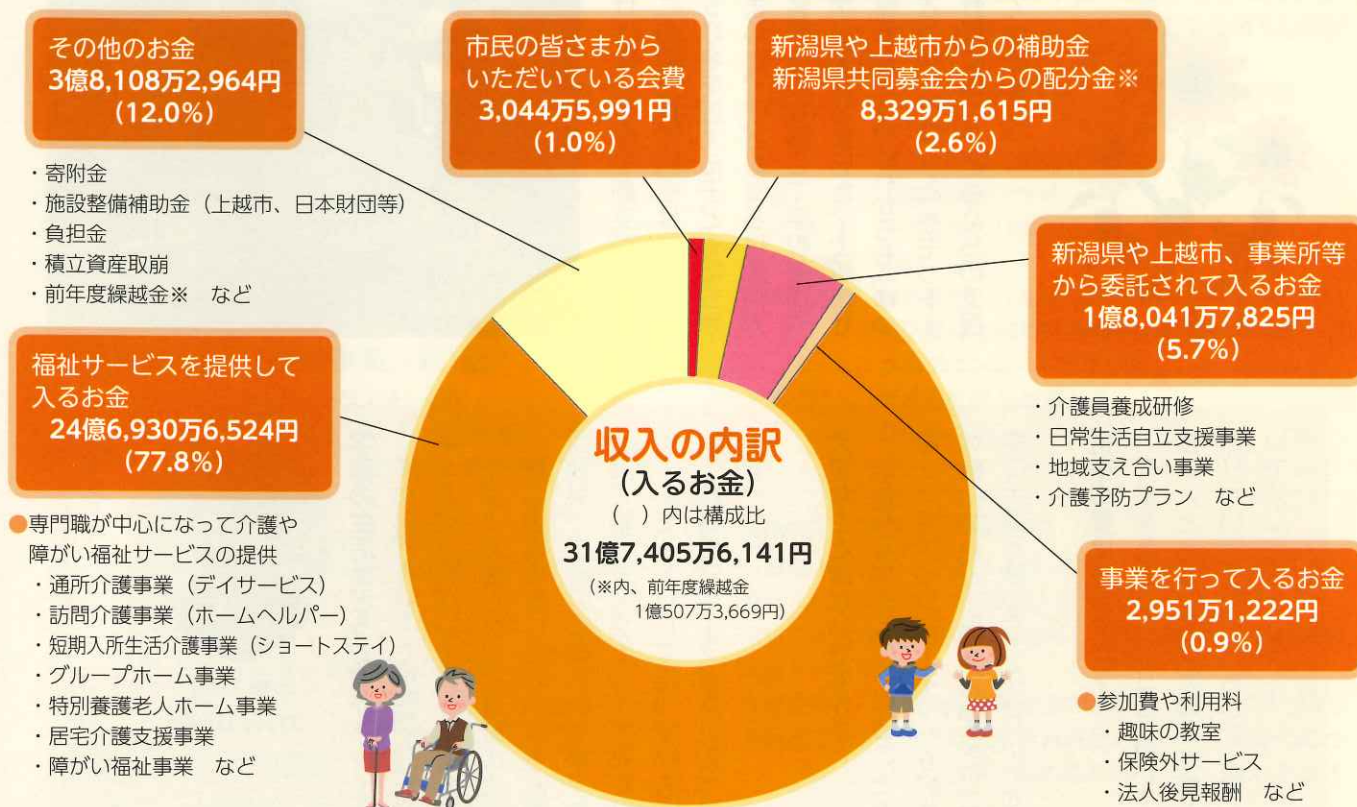
やすづか学園では、随時不登校の相談に応じています。また、毎月一回、上越市市民プラザで「不登校相談室」を開催しています。詳しくは、やすづか学園（☎025・593・2004）までお問い合わせください。学園の情報は、上越市社会福祉協議会または、やすづか学園のホームページをご覧ください。



尚、上越市では教育相談所において、いじめや不登校など教育に関する悩みや相談に応じています。詳しくは上越市ホームページをご覧ください。

上越市社会福祉協議会 平成28年度収支報告

「共に生き 共につくる 福祉社会を目指して」



※内訳

・ 新潟県からの補助金 312万6,000円 ・ 新潟県社会福祉協議会からの助成金 392万円
 ・ 上越市からの補助金 5,568万3,324円 (内訳: 市内の地域福祉活動を行うための補助金 1,780万6,000円、権利擁護事業を推進するための補助金 630万2,000円、春日山荘の運営費補助金 1,274万3,324円、やすづか学園の運営費補助金 1,800万円、障がい者就労支援事業補助金 82万9,000円)
 ・ その他各種補助金 268万2,991円 ・ 新潟県共同募金会からの配分金 1,788万2,300円



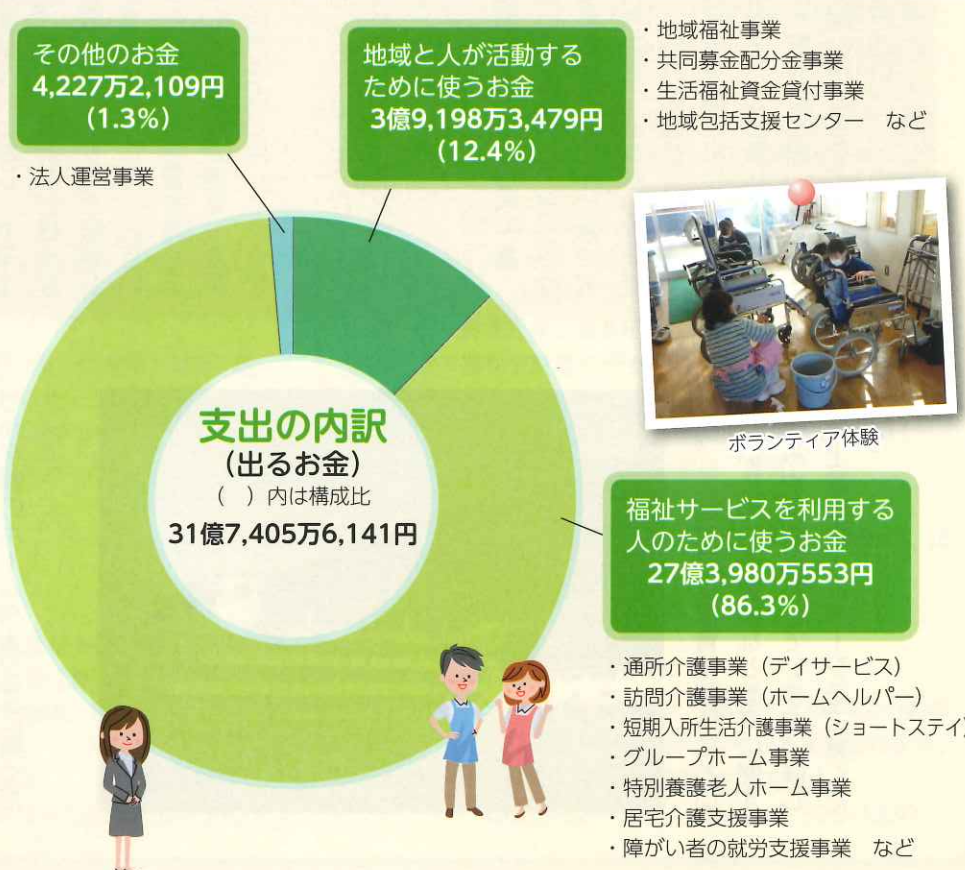
通所介護事業 (デイサービス)



認知症サポーター養成講座



農業実習での除草作業 (障がい者の就労支援事業)



ボランティア体験

福祉サービスを利用する人のために使うお金
27億3,980万553円
(86.3%)

・ 通所介護事業 (デイサービス)
 ・ 訪問介護事業 (ホームヘルパー)
 ・ 短期入所生活介護事業 (ショートステイ)
 ・ グループホーム事業
 ・ 特別養護老人ホーム事業
 ・ 居宅介護支援事業
 ・ 障がい者の就労支援事業 など

住民福祉社会リポート 平成29年度の事業計画が提出されました。

今年度から2年間「住民が自ら地域の福祉課題等について考え、その解決に向けて自主的に福祉活動を実践する住民福祉会のモデル地区」として取り組む3地区から、今年度の事業計画書が提出されました。

3地区とも取組は様々です。上越市社協はモデル地区を支援し、ともに地域福祉の推進を図ります。

これから具体的な事業が実施されますので、その内容については社協だよりで随時紹介していきます。

諏訪区 諏訪の里づくり協議会

1. 福祉意識アンケート調査

全世帯へアンケートを配布し、区内の福祉（生活）課題やニーズを把握。集計結果から必要な事業を企画、実践していく。

2. 人材育成

認知症の理解と対応方法等を学ぶ研修会の実施。認知症キャラバンメイト養成講座の受講。



3. 福祉体験

夏祭りで「福祉ブース」を設け、福祉疑似体験を実施して要支援者の理解を図る。また、福祉の情報コーナーを用意し、区民が福祉の制度や事業などを知る機会をつくる。

中郷区 中郷区まちづくり振興会

1. 認知症サポーター養成講座

区民を対象に、認知症サポーターを養成する講座を実施し、支援者の拡大を図る。

2. 高齢者ふれあい事業

区内の高齢者を対象とし、今後のニーズ調査を兼ねた「お買い物バスツアー」を実施。

3. 福祉学習会

高齢者疑似体験、車いす体験、福祉講演会を保育園・小・中学校で実施。

4. 親子福祉セミナー

親子を対象に親子のふれ合いを大切にしたい講話とレクリエーションで「心と体の福祉講座」を4回実施。

5. キャリアアップ育成

福祉活動を進めるための資格を取得し、実施事業の充実と新たな事業展開を図る。

6. 福祉カレンダー

高齢者向けの福祉情報を盛り込んだ福祉カレンダーを作成し、全世帯へ配布する。



名立区 名立区住民福祉会

1. 福祉施設応援隊

区内の福祉施設の環境整備や施設行事などに協力する「応援隊」を募り活動する。



5月27日
「椿寿苑」周辺の草刈りを実施

2. 高齢者ふれあい交流会

75歳以上の一人暮らしや高齢者のみの世帯を対象に、孤立防止や介護予防を目的に会食やレクリエーション等で交流を図る。

3. 地域福祉懇談会

区内の福祉（生活）課題やニーズを把握するため、福祉懇談会を実施。

4. 福祉フェスタ

福祉の講演会と地元劇団による福祉をテーマとした演劇鑑賞で、福祉の啓発を図る。

5. 上越市手をつなぐ育成会名立支部研修会

保育園、小・中学校保護者や地域住民を対象に発達障がいに関する正しい知識を学ぶ研修会（講座）を実施。

6. 健康づくり活動

町内会が実施主体となり、身近な場所で気軽に運動できる機会を設け、生活習慣病や介護予防につながる活動を実施。

7. 名立区住民福祉会だよりの発行

年2回広報紙を全世帯に発行し、住民福祉会の活動を周知するとともに、区民の福祉意識の醸成と活動への参加拡大を図る。

※「住民福祉会」とは…

住民が自ら地域の福祉（生活）課題等について考え、その解決に向けて自主的に福祉活動を実践する活動組織です。全国的にも「地区社協」、「校区福祉会」等の名称で設置されています。

上越市内では「住民福祉会」という名称で、上越市社協が地域に働きかけ取組を進めています。

福祉のしごと出張相談

- 日 時 毎月1回開催 第3水曜日
午後1時～3時 (1人30分以内)
- 場 所 上越総合福祉センター 201研修室
- 対 象 者 ①福祉職場に関心がある方や就職を考えている方
②求人を考えている福祉事業所の方
- 申込方法 要予約
- 予約申込先 新潟県福祉人材センター
(新潟市中央区上所2-2-2新潟ユニゾンプラザ内)
☎025-281-5523

視覚障がい者生活訓練事業 (第1回)

- 日 時 7月30日㊤ 午後2時～4時
- 場 所 上越市福祉交流プラザ 第1会議室
- 内 容 薬のお話 (正しい飲み方、副作用、サプリメントなど)
- 講 師 伊藤 敏紀 氏 (薬剤師)
- 対 象 者 市内在住の視覚に障がいのある方やご家族の方
- 参 加 費 無料
- 申込締切 7月20日㊤
- 申込問合先 地域福祉課 地域福祉係 ☎025-526-1515

災害ボランティア講座

上越市及び上越圏域での大規模な災害の発生に備えて、災害ボランティア講座を行います。

【災害ボランティア講演会】

- 日 時 8月19日㊤ 午後2時～4時
- 場 所 妙高市役所コラボホール (妙高市栄町)
- 内 容 被災者支援と災害ボランティア活動
- 講 師 NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク事務局長 李 仁鉄 氏
- 対 象 者 市内在住の方
- 参 加 費 無料
- 定 員 先着50名
- 申込締切 8月4日㊤

【災害ボランティア支援者養成講座】

- 日 時 9月23日㊤㊤ 午後1時30分～4時30分
9月24日㊤ 午前10時～4時
- 場 所 上越市市民プラザ
- 内 容 災害ボランティアセンターの理解・役割・運営、地域の受援力 等
- 講 師 NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク事務局長 李 仁鉄 氏
- 対 象 者 市内在住の方
- 参 加 費 無料
- 定 員 先着50名
- 申込締切 9月8日㊤

詳細は、当会ホームページに掲載及び上越市社会福祉協議会各支所窓口に設置の「チラシ」をご覧ください。お申込みはチラシに記載の「申込書」を郵送・FAXまたは電話でお申込みください。

【申込問合先】 地域福祉課 地域福祉係
☎025-526-1515 FAX025-526-1230

手話体験講座

手話を楽しく学び、聴覚障がい者への理解を深めましょう。初心者の方、手話に興味のある方のご参加をお待ちしています。参加費は無料ですが全回ご参加ください。

- 日 時 7月22日・7月29日・8月5日・8月19日・
8月26日
毎回土曜日 (全5回) 午前10時～正午
- 場 所 上越市市民プラザ
- 対 象 者 市内在住の18歳以上の方
- 申込締切 7月11日㊤
- 申込方法 申込書をFAXまたは郵送でお申込みください。
申込書は上越市社会福祉協議会ホームページからダウンロードできます。
- 申込問合先 地域福祉課 地域福祉係
☎025-526-1515 FAX025-526-1230

運転ボランティア募集中

運転ボランティアとは、障がいのため屋外での移動が困難な人に、外出のための支援を行うボランティアです。

リフト付きの福祉車両を運転し、利用者の希望地までの送迎を行います。

- 必要要件 70歳未満で普通自動車運転免許証をお持ちの方
- 登録方法 上越市社会福祉協議会各支所で登録ください。その際、運転免許証のコピーをいただきます。
- そ の 他 自宅から福祉車両がある支所までは、ガソリン代の実費弁償があります。
- 問 合 先 地域福祉課 地域福祉係 ☎025-526-1515

ミニ講座開催のお知らせ ～権利擁護推進事業～

「学ぼう! 役立つ制度や情報」をテーマに、専門家を招いて全4回の講座を開催します。

今回は前期分 (第1回と第2回) についてお知らせします。「自分らしく生きる」ための制度について一緒に学びましょう。
※「わたしノート (オリジナルエンディングノート)」をお配りし、記入に必要な制度等について学びます。

【第1回】7月29日㊤ 午前10時～11時30分

「知って安心身近な制度～成年後見制度～」

講 師: 馬場秀幸法律事務所 弁護士 馬場 秀幸 氏
内 容: 権利や財産を守る身近な仕組みについて説明します。

【第2回】9月30日㊤ 午前10時～11時30分

「これだけは知っておきたい相続・遺言」

講 師: 上越公証役場 公証人 長谷川彦一氏
内 容: 相続人と相続分、遺言の形式や長所と短所、正しい遺言の作成方法など説明します。

- 対 象 市内在住の方 (先着30名)
- 会 場 上越市福祉交流プラザ
- 参 加 費 100円
- 申込方法 開催日の1ヶ月前より電話またはFAXでお申込みください。定員になり次第締め切ります。
- 申込問合先 地域福祉課 権利擁護・生活支援係
☎025-521-1212 FAX025-526-1230

平成29年度上越市社会福祉協議会長表彰候補者の推薦

上越市社会福祉協議会では、「社会福祉功労者表彰」を行います。次の各号に該当される方をご推薦ください。

- 詳しくは、当会ホームページをご覧ください。
- 被表彰者 ①民間社会福祉団体等の役員で功績顕著な方
②地域福祉の分野における活動で功績が顕著なボランティア（個人・団体）
 - 推薦条件 [基準日は平成29年4月1日とします。]

- ①役員で10年以上在籍
- ②活動期間が概ね5年以上の個人やグループ、団体
- 必要な書類 当会ホームページから推薦書をダウンロードしてください。また、推薦書が必要な方は郵送します。
- 推薦期限 8月11日(金)迄
- 提出問合先 総務課総務係 ☎025-526-1515

善意の寄附に感謝を込めて…

4月1日から5月31日まで

心のかよいあう、あたたかいまちづくりのため、皆さまからのご浄財を社会福祉に使用させていただきます。大変ありがとうございました。(寄附金額 1万円未満はご芳名のみ掲載。順不同・敬称略)

社会福祉事業のために

- 本所
NOC新潟県お見合いセンター上越 支援資金
株式会社ユアテック上越営業所 支援資金
信越化学労働組合直江津支部 30,000円
一般財団法人上越市環境衛生公社
株式会社魚住かまぼこ店 97,090円
- 安塚支所
八木勇二（小黑） 支援資金
匿名 30,000円
やすづか学園
豊岡明子、田村雅彦、有沢栄一
大塚健一郎、池田勝良、(有)東頸設備
松本咲子、本山左右子、横尾一男
杉みき子、甕澤幸一、丸山清子
(有)金谷雄三薬局、日下部進、八木勇二
山岸秀夫、山岸芳子、伊米ヶ崎建設(株)
渋谷岩雄、山崎高美、根津宏、白倉敏一
秋山正道、高橋士郎、専敬寺、太田正則
小林正秋、長谷川直樹、(株)有沢製作所
(有)内山商会 支援資金
- 中郷支所
上越市立中郷中学校3年生 19,015円
- 板倉支所
清心荘
匿名 30,000円
- 清里支所
関根良平 支援資金
- 三和支所
武田ヨシ（大） 100,000円
すいせんの里
澤田昭吾 30,000円
- 名立支所
名立南部仏教協会 20,000円

物 品

- 本所
五智1丁目町内会
五智1丁目ふれあいの会 アルミ缶プルトップ6.4kg
匿名 パット6袋、リハビリパンツ20枚
濱田トヨ 紙オムツ20袋、パット6袋他
春日新田木町木楽会
牛乳パック椅子20個他多数
信越化学労働組合直江津支部
タオル200枚
- センターデイサービス
平野民夫 車椅子1台
匿名 新品肌着19枚
岡崎エツ子（春日新田） オムツ8袋
- デイホーム有田
大澤晶 動物・植物図鑑7冊
- 安塚支所
やすらぎ荘
町田正行（安塚）
マイクカラオケ1台、文房具一式
- 柿崎支所
ふれんどり〜ミルはまなす
上越運送株式会社 支援物資
- 大潟支所
やすらぎの家
タキヤ理容所南雲義美 業務用洗剤2箱
ヘルパーステーション上越北大潟サテライト
佐藤雅子 バスタオル5枚
- 頸城支所
吉和会 古タオル70枚
峰村孝美
タオル107枚、バスタオル7枚
下吉吉寿会 タオル29枚
峰村孝美 タオル100枚
二葉会 タオル41枚
宮澤敏彦（下神原） 栄養補助食品1箱

- 吉川支所
いこいの里あさひ
六万部六寿会 タオル42枚
ほほ笑よしかわの里
武藤 正 花の寄植え3鉢
- 板倉支所
清心荘
藤巻春雄 紙オムツ45枚、パット230枚
- 三和支所
美杉の里
古市秀美 紙オムツ4袋、パット4袋
すいせんの里
澤田昭吾
紙オムツ150枚、尿取りパット50枚
- 名立支所
椿寿苑
竹田ミナ（濁沢）
紙オムツ2袋、紙パット4袋
名立南部仏教協会
折りたたみベッド2台

使用済切手

吉越智秀、田辺松蔵、(有)丸田屋商店
(株)MARUWA、上越八幡郵便局、五智一丁目町内会・五智一丁目ふれあいの会、上越運送(株)、吉和会、山岸功・保倉地区民生委員児童委員一同・第九地区民生委員児童委員協議会一同、太田勝昭、丸山勝、齋藤粧美、エフビー介護サービス、(株)滝田、(株)オアシスMSC
新潟労災病院店、特別養護老人ホームいなほ園、(有)渡辺工務店、上田税務会計事務所、第7地区民生委員児童委員協議会、丸七商事、(株)大島組、山後知恵子、上越環境科学センター、サノヤ商事(株)、医療法人麗会

活動レポート 地域で キラリ!



「私を含め、日本のスノーボード競技に出場したメンバー5人全員がメダルを取ることができました。皆さん、応援してくれてありがとうございます。」

「またこの世界大会に出場したいです。」と次の活躍を夢見しています。

次に二ノ宮さんは、上級スラロームで優勝、上級ジャイアントスラロームでは3位になりました。

「スペシャルオリンピックピックス(以下、「SO」)の活動に出会えたのは、高田養護学校高等部に入学して、SOのコーチをしていた先生にめぐり逢えたからです。

スノーボードを始めて11年目に念願の世界大会に出場できました。

107カ国から約2,700人のアスリートが参加し、沢山の人と出会い、最後は笑顔で表彰台に立つことが出来ました。多くの方々に支えられ参加できて幸せでした。」と小関さんと同じく次の活躍を夢見しています。

そして、嬉しいニュースが飛び込んできました。お二人が県障がい者スポーツ奨励賞の受賞者に決定しました。

今後も輝かしい結果を残していきたいと応援しています。

今回ご紹介するのは「2017スペシャルオリンピックピックス冬季世界大会・オーストリア」にスノーボードの日本代表として派遣され、輝かしい成績を収められた小関都さん(写真右)と二ノ宮悠さん(写真左)のお二人です。

小関さんは大潟区にある大潟デイサービスセンターやすらぎの家の介護員として勤務し、また二ノ宮さんは富寿し直江津支店に勤務しながら毎冬スノーボードの練習に励んでいます。お二人は昨年行われた日本大会で好成績を収め、今回の世界大会に出場されました。

昨年5月末に出場が決定して以来、合同合宿などで練習して本番に備えました。

3月15日に現地に到着してからは、ウィーン市役所に表敬訪問するなど貴重な経験をされたそうです。

小関さんは、初級スラロームで2位、初級ジャイアントスラロームでは優勝されました。

ピアノコンサート&福祉講演会

素晴らしいピアノ演奏を鑑賞していただいた後、健康寿命が延びるようお話をお聞きます。大勢の皆さんの来場をお待ちしています。

●日時 8月20日@

開場 午後0時30分 開演 午後1時

●場所 ユートピアくびき希望館多目的ホール

●講師

第一部 午後1時～2時30分
全盲のピアノ弾き語りシンガー
ソングライター
佐藤ひらりピアノコンサート

第二部 午後2時40分～3時40分
(社)新潟県労働衛生医学協会
常務理事 大西金吾講演会
演目「輝いて生きる～笑い与健康」

●入場料 無 料

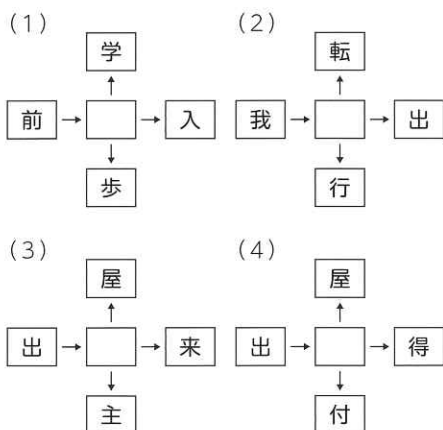
●問合先 頸城支所 ☎025-530-4361

就労支援事業所ふれんどり～ミルはまなすの
出店販売があります。



頭の体操

矢印の方向に読むと二字の熟語になるように、各問題で共通する漢字を□に入れます。



※問題提供・新潟県家庭教師協会さま
答えはページの右下です。

皆さまからのご意見をお待ちしています。また、福祉団体やボランティア団体からの掲載記事もお待ちしています。

【連絡先】上越市社会福祉協議会 総務課 ☎ 025-526-1515・FAX 025-526-1230 Eメール: jsk-jouetu@jouetushisyakyo.jp

頭の体操答え (1) 進 (2) 流 (3) 家 (4) 納

上越市社会福祉協議会
平成29年7月1日発行

社協だより 8